



TOHOKU
UNIVERSITY

令和8(2026)年度

博士課程前期2年の課程学生募集要項

(令和8(2026)年4月入学)

[推薦入学特別選抜(他学部・他大学)]

令和7(2025)年4月

東北大学大学院工学研究科

【工学研究科の入学者選抜方針（博士課程前期2年の課程）】

◇アドミッション・ポリシー

東北大学大学院工学研究科は、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を目指します。

具体的には、創造性と高い研究能力を有する研究者や社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者を志す、次の学力および能力をもつ人を求めます。

1. 工学を学ぶための基礎学力
2. 問題解決のための論理的思考能力
3. 教育・研究環境に適応し、国際的に活躍するための語学力

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生等特別選抜、推薦入学特別選抜、9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜、早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜、および英語による教育を提供する国際学位コースに関する選抜の枠を設けて入学試験を実施し、上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

推薦入学特別選抜では、各選抜の実施単位である系・専攻ごとに論理的思考力と文章表現力を評価する小論文、研究計画の評価および研究意欲等の適正を見るための面接試験等を適宜組み合わせを行い、それらを総合的に評価して選抜を行います。必要に応じて語学力の評価を合わせて選抜を行います。

なお、入学前に、専門分野の高度な知識を習得し研究を行うために必要な基礎学力を身につけておくことを希望します。

◇教育目的および教育目標

工学研究科は、東北大学の伝統である「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念の下、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。

具体的には、前期課程にあつては、研究遂行に必要な幅広い基礎学力と語学力を習得し、研究課題を独自の発想によって展開させ、論文等として発表する能力を備えるとともに、専門分野における研究能力、あるいは研究・技術指導のための基本的能力と高度な技術を有する人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では、所定の期間在学し、工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、所定の単位以上を修得し、高い倫理観と責任感、そして以下の知識と能力を身につけた上で、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した学生に対して、修士（工学）の学位を授与する。

1. 研究課題の本質を理解し探究できる幅広い基礎知識と基礎学力
2. 専門分野に関する深い知識

3. 専門分野に関連した学際的知識
4. 異なる専門分野の知識の統合によるシステム設計能力
5. 研究の課題設定と課題解決能力
6. 研究の高度な実践能力と応用展開能力
7. 研究の遂行に必要な語学力
8. 研究指導または技術指導のための基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう、以下の方針に沿って教育を行う。

1. 研究課題の本質を理解し、研究を遂行、展開するために必要な幅広い基礎知識、高度な専門知識及び専門分野に関連した学際的知識を修得させる。
2. 研究課題に対する高度な実践能力、その研究課題を独自の発想によって展開できる能力を育成する。
3. 研究の遂行及び研究成果を発表するのに必要な語学力を育成する。

上記の方針を実践するため、工学研究科全体で共通科目を開講するとともに、専攻ごとに専門基盤科目、専門科目、関連科目を設定し、カリキュラムマップにより教育課程の全体像を把握できるようにしている。専門基盤科目は主に講義形式で提供し、専門科目は講義形式の他、セミナー、修士研修等で構成されている。講義形式の科目は、各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し、科目ごとに教授内容、達成方法、時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。セミナー科目は最新技術あるいは自身の研究成果に関する発表および討論を通して当該分野の研究課題を俯瞰する力や研究の実践力を養成する。修士研修は個別の課題に関する研究と修士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力と展開力および語学力を養う。

講義科目では、定期試験やレポート等の手段により基礎知識、基礎学力、専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。セミナー科目では発表や討論を通して学術論文や技術資料を理解する能力を当該専攻の教員が評価する。修士研修では研究室における研究活動、国内外の学会における発表、修士学位論文および審査会における議論の内容を基に、独自の発想により研究課題を展開させ遂行する能力、学会における研究発表や討論の能力、外国語によるプレゼンテーション能力、演習・実験の補助能力、学術報告書の作成能力等を指導教員が評価する。

1 募集する系・専攻及び募集人員

| 系・専攻名 | 募集人員 | 系・専攻名 | 募集人員 |
|---|------|---|------|
| 機械系4専攻 機械機能創成専攻 ファインメカニクス専攻 ロボティクス専攻 航空宇宙工学専攻 | 11名 | 化学・バイオ系3専攻 応用化学専攻 化学工学専攻 バイオ工学専攻 | 4名 |
| | | 材料科学系3専攻 金属フロンティア工学専攻 知能デバイス材料学専攻 材料システム工学専攻 | 4名 |
| 量子エネルギー工学専攻 | 3名 | | |
| 電気系3専攻 電気エネルギーシステム専攻 通信工学専攻 電子工学専攻 | 5名 | 土木工学専攻 | 2名 |
| | | 都市・建築学専攻 | 2名 |
| 応用物理学専攻 | 2名 | 技術社会システム専攻 | 2名 |
| | | 計 | 35名 |

2 出願資格及び推薦要件

学業及び人物ともに極めて優れている者として、在籍している大学の学部長等から推薦され、かつ、合格した場合には必ず入学を確約できる者で、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 令和8（2026）年3月に他大学（本学他学部を含む。）を卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣の指定した大学校等（昭和28年文部省告示第5号）を令和8（2026）年3月に卒業又は修了見込みの者

[注] 出願者は、入学後の研究計画等について受入予定教員へ事前に問い合わせてください。

3 オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは、次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格（1ページ）や出願に必要な書類（3～5ページ）等をよく確認してください。
- ・出願書類の「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項4ページの指示に従い、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。
- ・振込後、ATMの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付け、そのスキャンデータをTAOの出願登録サイトでアップロードしてください。

3 TAO 出願登録サイトで出願登録



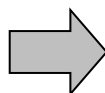
- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。<https://admissions-office.net/>
- ・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。
- ・登録後は、登録した内容は変更できません。登録するときは、誤りのないように、確認しながら慎重に行ってください。
- ・一時保存の機能がありますので、確認などに有効に利用してください。
- ・出願手続は、検定料の納入を経て、インターネット上で出願情報を登録することで完了します（同時にシステムから出願完了のメールが届きます）。なお、出願完了後は、TAOの「出願一覧」画面で該当の選抜が「完了済」タブに表示されているか確認してください。

出願を完了する

【注意事項】
出願完了後すべてのデータは編集不可となります。
入力がすべて完了しているか再度確認してください。

上記確認のうえ出願する。

キャンセル **はい**



The Admissions Office

学校検索 募集検索 基本情報 **出願一覧**

出願一覧

| 出願状況 | 募集名 | 募集締切日時 |
|---------------|--|--------|
| 未完了 | 完了済 | |
| ☆ 取り消し済 | 東北大学 / 工学研究科 / 工学研究科18専攻（博士前期2年の課程） / 一般選抜 | |
| ☆ 出願完了 | 東北大学 / 工学研究科 / 工学研究科18専攻（博士前期2年の課程） / 一般選抜 | |

出願者は、指定のオンライン出願システム The Admissions Office (以降、TAO と表記します。) を使って下記の手順に従い、出願期間内に出願手続を行ってください。**なお、出願期間は令和7(2025)年5月9日(金)9:00 から5月15日(木)16:00(日本時間)までです。**

【方法】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が出ますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。

<https://admissions-office.net/portal>

2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューを利用し「東北大学/工学研究科/博士前期2年の課程/推薦入学」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。

3. 下記の書類をPDFファイル化し、出願フォームにアップロードして提出願います。

また、提出する証明書は原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合は各証明書の発行元が証明した和訳又は英訳を添付してください。

上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取り下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は、入学手続き時に「成績証明書」「卒業証明書」及び出願時にPDFファイルで提出した英語スコアシート(材料科学系3専攻合格者のみ)の原本を提出することが求められます。オンライン出願システムにアップロードした書類と、入学手続き時に提出した原本の内容に相違がある場合、あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は、書類不備として入学許可を行わないことがあります。

| 提出書類等 | 摘 要 |
|---|---|
| 入 学 願 書 | オンライン出願システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。 |
| 履 歴 書 | 下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html |
| 推 薦 書 | 本研究科所定の様式(在籍している大学の学部長等が発行した、公印のあるもの)。 なお、様式は下記 URL からダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html |
| 成 績 証 明 書 | 在籍している大学の学部長等が発行するもの。 |
| T O E F L [®] T e s t 又 T O E I C [®] | 材料科学系3専攻(金属フロンティア工学専攻, 知能デバイス材料学専攻, 材料システム工学専攻)を志願する者のみ提出してください。 それ以外の系・専攻志願者は提出不要です。 |

| | |
|--|---|
| <p>Listening & Reading Test (以下、TOEIC®公開テストと記載)</p> <p>スコアシート</p> <p>有効となる試験: TOEFL iBT® Test, TOEIC®公開テスト</p> | <p>本研究科では、<u>TOEFL iBT®テストにおいて Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します (MyBest™スコアは利用しません)</u></p> <p>※TOEFL®Test, TOEIC®公開テストのスコアシートの提出にあたり特別な事情がある場合は、専攻照会先にお問い合わせください。</p> <p>※TOEFL®, TOEFL iBT®, および TOEIC® はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。</p> |
| <p>卒業見込証明書</p> | <p>在籍している大学の学部長等が発行するもの。</p> |
| <p>受験票・写真票</p> | <p>下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。</p> <p>https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html</p> <p>写真票には上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真の画像ファイルを含めてください。</p> |
| <p>住民票</p> | <p><u>本邦に在留する外国人の方(在留期間が90日を超える者)のみ</u>提出してください。</p> <p>(出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号(マイナンバー)の記載がなく、在留資格が明記されたもの)</p> |
| <p>検定料</p> <p>30,000円を 5月14日(水)までに右記により支払いのうえ、「検定料納付確認書」を提出すること。</p> | <p>①下記 URL から所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。</p> <p>https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html</p> <p>②検定料は、ATM(金融機関, コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入し、ATMの利用明細(写)又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピーを<u>検定料納付確認書に貼り付け</u>てください。</p> <p>※<u>振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名</u>を登録すること。</p> <p>※<u>振込先口座情報, 金額, 振込日, 振込依頼人名等がわかるもの</u></p> <p>※振込手数料については、出願者本人負担となります。</p> <p>金額: 30,000円 納入期限: 5月14日(水)【期限厳守】 銀行: 三菱UFJ銀行 銀行コード: 0005 支店: わかたけ支店 支店コード: 809 預金種別: 普通 口座番号: 2259225 口座名義: 国立大学法人東北大学 カ ナ: ダイ トウホク ダイグク</p> <p>③国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください(4月下旬掲載予定)。</p> <p>https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html</p> <p>④海外在住の方等で、上記金融機関への振込みが非常に困難な場合は、事前に大学院教務係(9頁参照)までご連絡ください。</p> |
| <p>あて名票</p> | <p>オンライン出願システムのあて名票フォームに必要事項を入力してください。</p> |

◎下記の書類は外国人留学生のみ提出願います。

確 認 書

本研究科所定の様式で受入れ予定教員又は専攻長が作成したもの。
(研究計画等を確認していることを記したもの)
下記 URL から所定の確認書ファイルをダウンロードし、事前に受入れの承諾を得ている本研究科の受入れ予定教員に作成してもらったものを提出してください。
<https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html>
*化学・バイオ系3専攻(応用化学専攻, 化学工学専攻, バイオ工学専攻)を志願する者は, 工学研究科化学・バイオ系事務室(chē-kyom@grp.tohoku.ac.jp)に確認書の作成について別途問合せてください。

4 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、別表に記載されている試験科目の結果及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和7（2025）年6月30日（月）に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科

そ の 他：集合場所など詳細については、各専攻から本人あてに通知します。

【書類審査】提出書類により判断します。ただし、実施する系・専攻は、機械系4専攻（機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻）及び化学・バイオ系3専攻（応用化学専攻，化学工学専攻，バイオ工学専攻）のみです。審査結果は6月中旬に通知し，それと併せて審査に可となった場合は，受験票及び受験案内等を送付します。

5 合 格 者 発 表

令和7（2025）年7月2日（水）17時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）で発表する予定です。

なお，合格者に対しては，合格通知書をTAOで送付します。電話による問い合わせには回答できません。

6 入 学 手 続 等

(1) 入学手続は，令和8（2026）年3月上旬から中旬にかけてGoogleフォームで書類を提出する方法で実施の予定です。詳細については，令和8（2026）年2月下旬にメールでお知らせします。

(2) 入学時の必要経費

① 入 学 料 282,000円（予定額）

② 授業料前期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

注1 上記の納付額は予定額であり，納付金の改定が行われた場合には，改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては，令和8（2026）年2月下旬にメールでお知らせします。また，免除，徴収猶予等の手続きに関しては，東北大学のウェブサイト（<https://www.tohoku.ac.jp/>）にアクセスし，「東北大学で学びたい方へ」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

7 長期履修学生制度の適用

本研究科では、特別の事情〔注1〕によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する〔注2〕ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので、工学部・工学研究科教務課大学院教務係にお問い合わせください。

入学時に長期履修学生制度の適用を希望する者は、入学手続期間中に申し出の上、所定の申請手続を行う必要があります。また、在学途中からの長期履修学生への変更もできますが、その場合の長期履修期間は標準修業年限内における残り在学可能期間の2倍までとなります。なお、標準修業年限内における残り在学可能期間が1年未満の者は変更できません。

- 〔注1〕 該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者
② 出産・育児、介護等を行う必要がある者
③ その他、本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

〔注2〕 長期履修期間は4年を超えることはできませんが、許可された長期履修期間の短縮を願い出ることはできます。

なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

8 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動機の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。
- (3) 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取り扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

9 教育・学習データ利活用について

本学では、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、個人情報保護に留意しつつ、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を有効かつ適正に利活用しています。入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL：<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

10 注意事項

- (1) 「研究室案内（各専攻の専門分野等を掲載）」は、4月下旬に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html>）に掲載しますので、出願の際には必ず確認してください。
- (2) 出願書類及び検定料は返付しません。ただし、【書類審査】（6月中旬に審査結果を通知）に不可となった受験者については、先に納付した検定料30,000円のうち23,000円を返付します。
- (3) 受験票が試験日7日前になっても到着しない場合は、志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。
- (4) 募集事務に関することは、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。
- (5) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

*相談の期限：原則として令和7（2025）年5月8日（木）まで

*申出書に記載する内容

- ① 志願者の氏名・住所・電話番号
- ② 出身大学等
- ③ 受験上配慮を希望する事項
- ④ 修学上配慮を希望する事項
- ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
- ⑥ 日常生活の状況
- ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）

- (6) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和7（2025）年4月

東北大学大学院工学研究科

（工学部・工学研究科教務課大学院教務係）

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

電話（022）795-5820

e-mail : eng-in@grp.tohoku.ac.jp

令和8（2026）年度博士課程前期2年の課程（推薦入学特別選抜(他学部・他大学)）

別 表

| 専 攻 | 試験科目 | 試験日時 | 備 考 |
|--|-------|-------------------------|---|
| 機 フ ロ 航 械 ア ボ 空 機 イ テ 宇 能 メ イ 宙 創 ニ ク 工 成 ク ス 学 専 ス 専 専 攻 攻 攻 攻 | 小 論 文 | 6月30日（月） 10:00～11:00 | 出願書類の内容により第1次選考を行います。第1次選考合格者に対してのみ、第2次選考として小論文試験及び面接試験を行います。 <u>*推薦書に席次（何名中）を出来る限り記載してください。</u> |
| | 面 接 | 6月30日（月） 13:30～ | 集合時間（小論文） 9:30 （面 接） 13:15 集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。 機械・知能系事務室教務担当 TEL022-795-7030 |
| 量 子 エ ネ ル ギ ー 工 学 専 攻 | 小 論 文 | 6月30日（月） 10:00～11:00 | 集合時間（小論文） 9:30 （面 接） 13:15 集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。 機械・知能系事務室教務担当 TEL022-795-7030 |
| | 面 接 | 6月30日（月） 13:30～ | 専攻長室 TEL022-795-7901 <u>*推薦書に席次及びGPAを出来る限り記載してください。</u> |
| 電 通 電 気 エ 信 子 エ ネ ル ギ 工 工 ー シ 学 学 ス テ ム 専 専 専 攻 攻 | 小 論 文 | 6月30日（月） 9:30～11:00 | 集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。 |
| | 面 接 | 6月30日（月） 13:30～ | 不明な点は専攻に照会してください。 電子情報システム・応物系事務室教務担当 TEL022-795-7186 <u>*推薦書に席次を出来る限り記載してください。</u> |

| 専攻 | 試験科目 | 試験日時 | 備考 |
|---------|------|-------------------------|---|
| 応用物理学専攻 | 小論文 | 6月30日(月) 10:00~11:30 | <p>集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。</p> <p>電子情報システム・応物系事務室教務担当 TEL022-795-7186</p> |
| | 面接 | 6月30日(月) 14:00~ | <p><u>*推薦書に席次を出来る限り記載してください。</u></p> <p>入試情報は下記のウェブサイトに掲載しています。 https://www.apph.tohoku.ac.jp</p> |

| 専攻 | 試験科目 | 試験日時 | 備考 |
|---|------|-------------------------|---|
| 応化バ 用学イ 化工オ 工学工 専専専 攻攻攻 | 小論文 | 6月30日(月) 9:30~11:00 | 出願書類の内容により第1次選考を行います。第1次選考合格者に対してのみ、第2次選考として小論文試験及び口頭試問を行います。 |
| | 口頭試問 | 6月30日(月) 13:00~ | 集合時間 9:15 集合場所など、詳細については、専攻に照会してください。 化学・バイオ系事務室教務担当 TEL022-795-7205 |
| 金知材 属能料 フデシ ロボ ンイ テ スム イ材工 ア料工 工学学 専専専 攻攻攻 | 英語 | | 入学試験実施日(令和7(2025)年6月30日(月))から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出してください。 |
| | 小論文 | 6月30日(月) 11:15~11:55 | 集合時間 11:00 |
| | 口頭試問 | 6月30日(月) 13:00~ | 口頭試問では、物理、化学、出身の学部・大学で履修した専門科目、材料化学、材料物性、材料加工に関する質疑応答を行います。 集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。材料科学系事務室教務担当 TEL022-795-7373 <u>*推薦書に席次を出来る限り記載してください。*</u> |

| 専攻 | 試験科目 | 試験日時 | 備考 |
|--------|------|------------------------|--|
| 土木工学専攻 | 小論文 | 6月30日(月) 9:30~11:00 | <p>集合時間 9:00</p> <p>集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。</p> <p>小論文では、土木工学における一般的な課題や研究テーマに関して1200字以内で論述させる出題を行います。面接では、主に専門の研究分野に関する質疑応答を行います。</p> |
| | 面接 | 6月30日(月) 13:00~ | <p>* 推薦書に席次を出来る限り記載してください。 また、入学願書の志望研究分野欄には分野名とあわせて受入を希望する教員の氏名を記入してください。</p> <p>人間・環境系事務室教務担当 TEL022-795-7489</p> |

| 専攻 | 試験科目 | 試験日時 | 備考 |
|------------|------|--------------------|--|
| 都市・建築学専攻 | 小論文 | | (1) 小論文のテーマを出願者へ別途事前に送付するので、指定の期日までに提出すること。 (2) 口頭試問では小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。 |
| | 口頭試問 | 6月30日(月) 13:30~ | 集合場所など、詳細については、専攻から連絡します。 <u>*推薦書に席次を出来る限り記載してください。*</u> <u>人間・環境系事務室教務担当</u> TEL022-795-7489 |
| 技術社会システム専攻 | 小論文 | | (1) 小論文は出願者に別途、選択式のテーマを事前に送付するので、指定の期日までに提出すること。 (2) 口頭試問では小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。また、基礎学力、および入学後の研究分野の適性についても評価する。口頭試問の時間は1人あたり30分程度である。日時・場所は、専攻より別途通知する。 |
| | 口頭試問 | 6月30日(月) 13:30~ | 専攻照会先： 事務室 TEL 022-795-3863 専攻ウェブサイト： https://www.most.tohoku.ac.jp <u>*推薦書に席次を出来る限り記載してください。*</u> |